

進路だより

令和3年12月10日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

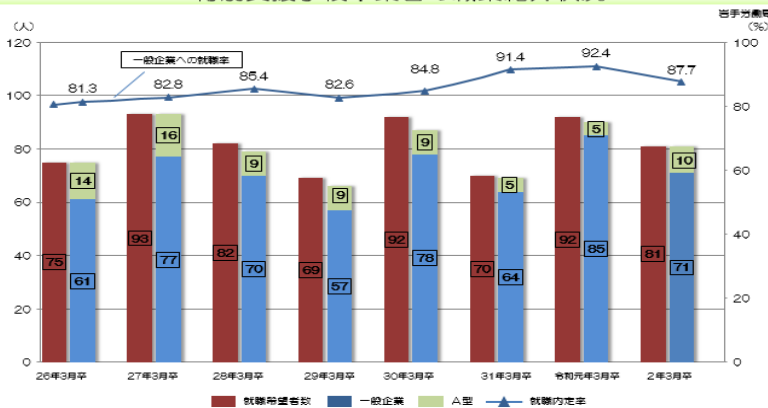
就労支援セミナー

はたらく準備にとりかかろう！

釜石高校 3 階の大会議室を会場に、岩手労働局と岩手障害者職業センターから講師をお招きし行いました。「障がい者雇用の現状について」「はたらく準備にとりかかろう」「就労を支える家庭の役割」の 3 つの柱でお話いただきました。セミナーに参加した生徒たちの目は真剣そのもの、沢山のことを学んだようです。

「障がい者雇用の現状について」の主な内容

特別支援学校卒業者の職業紹介状況



・平成26年3月卒から、一般企業へ就職した方と、就労支援継続A型事業所に就職した方を分けて表示。
・令和2年度においては、就職希望者に対して、一般企業、A型事業所へ100%就職。

令和2年度の岩手県内の就職件数は前年度を下回った。これは、コロナの影響と思われる。障がい者を雇用する目標値を示している法定雇用率は今年の3月に2.3%にあがった。岩手は全国的に見れば、2.28%と高い方である。特別支援学校卒業者の就職状況は、昨年度は71名が企業に就労している。平成26年以降は57人から85人の間で推移している。

「はたらく準備にとりかかろう」の主な内容

どんな仕事があるかを知らなければ就職活動は出来ない。いろいろな仕事に興味を持って欲しい。

～働いている人の事例を紹介～

はたらくために必要な基本のマナーは右の通り。守られているか？仕事をする前に出来ていてもらいたいこと。コミュニケーションを取るために大切なのは、挨拶、返事、言葉遣い、お礼と謝罪(あやまる)。日々の生活の中で身につけて欲しい。

基本のマナー

●休まない、遅刻しない
(遅刻・欠勤のときは、会社に連絡する)

●時間をまもる

●規則正しい生活リズム

●身だしなみ



質問に答える参加者

「就労を支える家庭の役割について」の主な内容

一番身近な支援者は家族。健康管理や生活支援等も、安定した職業生活の継続には欠かせない。

職場定着のためには、本人、企業、家族・支援者の三者それぞれの努力やサポートのバランスが重要。

企業はどんな障がい者を採用したいのか聞くと、作業能力の優先度は高くない。①作業意欲がある人。②周辺処理が自分で出来る人。③他の職員と仲良く出来る人。④挨拶や返事がしつかり出来る人。⑤危険に対して気をつけることが出来る人。⑥会社の規則が守れる人。が企業が採用したい人。

農福連携説明会



農福連携とは？

障がいがある人や高齢者などが農業に携われるよう、国や自治体、法人などがそれを支援する取り組みのこと。農福連携の取り組みが進むことで、障がいがある人や高齢者などの働き口を創出できるとともに、農業分野では高齢化による後継者・働き手不足の問題を解消できると期待されている。



かまいしワークステーションさんを会場に、10月15日（金）に「農福連携説明会」が行われ、高等部1年生10名が参加しました。

まず始めに、生産組合長さんや釜石市農林課の方から甲子柿の説明をしていただきました。「全国で釜石市にしかない珍しい柿です」「今年から、GI(地理的表示保護制度)に登録しました」「130年前に住田から来たお嫁さんが持ってきた(諸説有り)そうです」など沢山のことを教えていただきました。生徒も職員も初めて知ることが多くてとても勉強になりました。

その後、かまいしワークステーションさんの2名の利用者さんから甲子柿の磨き方を教えていただきました。優しく、丁寧に磨くようにご指導をいただき、生徒たちも軍手を両腕にはめて作業してみました。「ピカピカになって気持ちいい」とか「プラモデルのヤスリかけと要領は同じだ」などの感想を話しながら130個を30分ぐらいで磨き上げることが出来ました。

今日体験させていただいた作業は、表面を磨くことで艶が出て甲子柿を生産するには欠かすことの出来ない工程の一つとのことです。後日、生徒の磨いた柿は、東京の銀座にあるいわて銀河プラザで売られ完売したそうです。開店と同時にお客様が殺到し瞬く間に売れたとのメールを農林課の方からいただきました。

「農福連携説明会」で行った甲子柿磨きの技術が認められ、近所の農家さんから80Kgの磨きをお願いされ高等部全体で取り組みました。

釜石地域に暮らしている生徒たちにとって、地域の特産物を知り、仕事を体験することはとても

大切なことだと感じました。将来、甲子柿に携わらないかも知れませんが、この体験を生かして『働く人になるために』これからの学習を頑張りたいと思いました。





中学部 第2回進路学習会



11月19日(金)に中学部第2回進路学習会が行われ、6名の保護者さんが参加しました。今回の内容は、①中学部を卒業してからの進路、②高等部を卒業してからの進路・利用できるサービス、③質疑応答でした。

参加された保護者の方から「他の方の質問も勉強になる!」というお声を頂きましたので、質疑応答の中で話題になった内容を一部紹介します。



Q 就労継続支援B型の工賃が上がることはありますか？

あります。県をあげて工賃アップに取り組んでいるところです。実は岩手県は全国で7番目に高い工賃になっていますが、それでも一般就労の給与と比べればかなりの開きがあります。各事業所で様々な工夫し工賃アップを目指して取り組んでいるところです。

Q 中学部卒業後、気仙光陵支援学校に進学するか釜石祥雲支援学校に進学するかで悩んでいます。

気仙光陵は寄宿舎があるため、生活面がレベルアップします。釜石祥雲は地元釜石の事業所や企業との結びつきが強いので、その点は有利なところです。



技能認定会



11月26日(金)「第5回岩手県特別支援学校技能認定会(沿岸南部会場)」が気仙光陵支援学校を会場に開催されました。高等部から5名が認定会に参加し、5名が見学しました。

技能認定会は生徒の自己実現(卒業後の就労や充実した生活等)に向け、企業・関係機関からの客観的な評価を得る機会とし、知識・技能及び態度や意欲の向上を図ること、企業・関係機関の生徒理解の促進と一般就労を含めた雇用機会の拡大につなげることを目的としています。専門的な技能の習得だけを評価するのではなく、①指示を聞いて、課題に取り組む ②わからないことは自ら質問・相談する ③終了したら報告する などの一連の動き中でどれだけ自分の力を発揮し、しっかり作業できるか普段の学習の成果を評価します。

今回の種目は「清掃」でした。生徒は緊張の中、一生懸命取り組み、審査員からは丁寧な作業や真面目な態度を高く評価していただきました。しかし、全員が制限時間10分以内で終わることができなかつたなど課題を見つけることができました。参加者、見学者とも働くために必要な力を知る良い機会となりました。



指示書を読んで開始

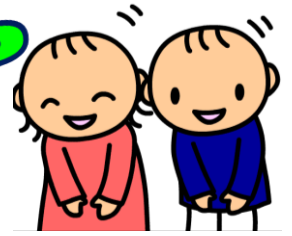


テーブル拭き



審査員と振り返りを行いました。

「あいさつ」 できていますか？



高等部では、前期(6月)と後期(9月)の2回、現場実習を実施しました。その際、事業所に評価票の記入をお願いしています。評価票には「一般就労(障がい者雇用)」、「就労継続支援B型」、「生活介護」の様式があり、各項目についてA~Dで評価します。

就労継続支援B型の評価票の一部を紹介します。

No.	項目/段階	A	B	C	D	評価
		できる	だいたいできる	あまりできない	できない	
1	身だしなみ	職場に応じた身だしなみをしている	だいたい職場に応じた身だしなみをしている	あまり職場に応じた身だしなみをしていない	職場に応じた身だしなみをしていない	B
2	あいさつ	自分からすすんであいさつができる	きまったあいさつまでできる	相手からあいさつされれば応じることまでできる	あいさつまでできない	A
3	人間関係の維持(コミュニケーション)	コミュニケーションを上手にとれる	コミュニケーションをある程度とれる	コミュニケーションをあまりとれない	コミュニケーションをとれない	B
4	体力	8時間程度、続けて作業ができる	4時間程度、続けて作業ができる	2時間程度、続けて作業ができる	作業中、何度も休憩が必要である	C

<評価票を集計しました!!>

「あいさつ」という項目は、A評価(自分から進んでできる)が、一般就労では33%、就労継続支援B型では42%、生活介護では25%となっています。半分以上の生徒が自分から進んで「あいさつができていない」という評価をいただいているのです。生徒たちから聞くと「あいさつ、ちゃんとしています」という返事が返ってきます。生徒たちは、やっているつもりなのだと思います。いろいろなセミナーに参加すると「いつでも、どこでも、誰とでも」できないとできるとは言わないのだそうです。客観的に外部の方から見れば、できていないのです。残念な結果ですが、日常生活の中で継続して取り組んでいかなければいけない課題と感じました。

現場からいただける評価表は、私たちの**貴重な宝物**です。私たちの実力を教えてくれるだけでなく、取り組むべき課題を明確にしてくれます。これからも、『**働く人になるために**』を合い言葉に生徒と共に頑張りたいと思います。

事業所見学のお薦め

PTAの事業所見学は、18名の保護者の皆さんに参加いただきました。その際、「**もっと沢山の事業所を見たい。**」との声が多く聞かれました。例年、高等部では長期休業を利用して見学していただいていますので、**小・中学部も見学可能**です。見学すると「〇〇〇はお菓子を作っている」とか「□□□□は送迎がある」などの情報を得ることができます。そして、「〇〇〇〇に行くためには……」とか「□□□□のお昼休みは……」というように**進路が少し身近に感じられるようになります。**是非、見学をお薦めします。冬休み中の事業所見学の希望があれば、**担任を通じて進路部まで。見学日を調整します!!**